

サムシングホールディングス株式会社 (証券コード:1408) 2016年12月期 第2四半期決算説明会



- ◆ 会社概要
- ◆ 事業内容
- ◆ 2016年度第2四半期決算内容
- ◆ 2016年度通期の見通し
- ◆ 参考情報



会社概要

事業内容	地盤改良事業 保証事業 地盤システム事業 海外事業 その他事業
上場市場	東京証券取引所JASDAQ ➤ 地盤調査、改良を主業とする会社では唯一の上場企業
設立	2000年(前身の(株)サムシングは1997年設立)
グループ会社数	10社
従業員数	単体19名、連結359名(2015年12月末時点)
資本金	336,070千円(2016年6月末時点)
売上高	9,461,788千円(グループ連結、2015年12月期)

セグメント	会社名	事業内容
地盤改良事業	(株)サムシング	戸建住宅から中・大型物件を対象とした地盤調査・地盤改良工事、沈下修正工事
	(株)サムシング四国	四国地方での地盤調査・改良工事
保証事業	(株)GIR	地盤保証「THE LAND」や住宅完成保証「住まいるガード」の提供
	Something Re Co.,Ltd.	キャプティブ事業(再保険事業)
地盤システム事業	ジオサイン(株)	地盤調査システム(G-Web System)や地盤調査機のレンタル・販売
海外事業	Something Holdings Asia Pte.Ltd.	東南アジア子会社への投資、及び経営管理
	Something Vietnam Co.,Ltd.	ベトナム国においての地盤調査・改良、住宅建材WPC販売
	Japanel Home Cambodia Co.,Ltd.	(注)2016年6月24日取締役会にて設立を決議し、現在設立手続き中です。(同日プレスリリースにて開示)
その他事業	サムシングホールディングス(株)	子会社の経営管理
	(株)住まいる検査	新築住宅・中古住宅の検査業務
	(株)E-ma	外構工事

地盤事業を中心とした事業展開・技術開発による
イノベーションにより、価値創造事業グループを目指す



地盤の技術力

多くの独自工法を開発

地盤データの透明化

独自の地盤システムを用いて、
データの特定・保管を行う

事業の横展開

主力の地盤事業を中心に、地盤
保証・住宅検査・海外事業等の
関連分野へ展開

A large, light orange, stylized 'S' graphic that serves as a background for the main title text.

事業内容

◆ 概要

- 戸建住宅やアパート・商業施設などの地盤調査・改良工事を行う
- 自走可能なボーリング調査マシン「地盤王ホリ・ススム」、自然砕石を用いるエコジオ工法など、独自工法の開発に強み

◆ 2016年度の施策

- 非戸建住宅(中規模建築物)への拡販を前年に引き続き推進
- 品質管理の徹底を行う品質向上策を推進

「地盤王ホリ・ススム」



◆ 概要

- 万が一、地盤沈下が起きた場合、補修工事を行う地盤保証を展開（既存の法律では地盤が原因の事故は補償されない）
- 認定店制度を採用し、代理店を通して地盤保証を販売
- 地盤保証は累計6万棟以上の実績

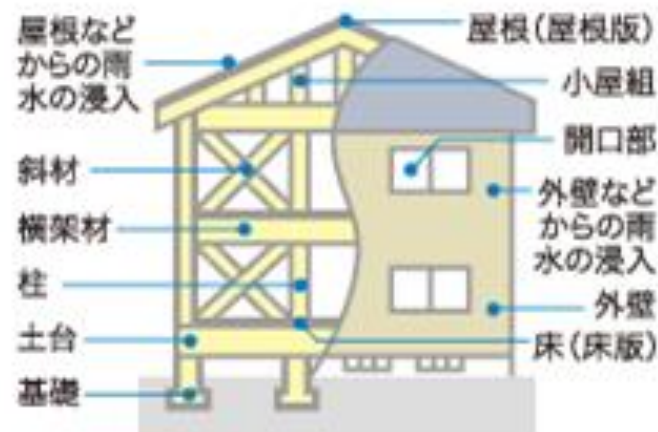
◆ 2016年度の施策

- 地盤保証「THE LAND」の拡販を推進

瑕疵担保責任保険がカバーする範囲

木造

在来軸組工法の戸建住宅の例



2階建ての場合の骨組み
(小屋組、軸組、床組)等の構成

◆ 概要

- 地盤調査・改良工事のデータをGPS等により記録し、クラウドを用いて保管を行う「G-Web system」を展開
- 地盤システムをレンタルし、毎月継続的に収益を得る

◆ 2016年度の施策

- 外部環境としては、前年にマンション傾斜問題が発生したことにより、地盤データの信頼性確保のニーズが増大した。これに対応するため、「G-Web system」の更なる拡販を行う。
- 「G-Web system」を業界のスタンダードとするため、大手住宅関連会社と提携。



◆ 概要

- ベトナム国において護岸工事などの地盤調査・改良工事を展開。
- ベトナム国を中心に住宅等向け建材WPC(プレキャストコンクリートパネル)を販売

◆ 2016年度の施策

- WPC住宅建設請負を行う新会社 (Japanel Home Cambodia Co.,Ltd.)をカンボジアに設立(2016年6月24日プレスリリース)。
- 投資回収・採算性確保が困難との判断から、住宅等向け建材GRC(グラスファイバーコンクリート)の製造を行うNihon Panel Co.,Ltd.の清算を開始。

河川での試験施工





2016年度第2四半期 決算内容

売上高	前年比+63百万円、予算比△59百万円 <ul style="list-style-type: none">地盤改良事業は戸建住宅、非戸建住宅ともに前期比増加
売上総利益	前年比△154百万円、予算比△134百万円 <ul style="list-style-type: none">地盤改良事業の粗利率低下が影響
営業利益	前年比△102百万円、予算比+13百万円 <ul style="list-style-type: none">地盤改良事業の粗利率低下が影響するも、販売費及び一般管理費を抑えて予算比プラスを確保
経常利益	前年比△143百万円、予算比△21百万円 <ul style="list-style-type: none">為替差損△46百万円が影響

(予算比は公表予算との比較になります)

- 粗利率の低下が影響し、営業利益は前期比減少
- 期初に粗利率の低下を見込んでいたこともあり、予算比は微増

単位:百万円	2014年2Q		2015年2Q		2016年2Q		
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	前年比
売上高	4,435		4,558		4,622		1.4%
売上原価	3,306	74.5%	3,371	74.0%	3,589	77.7%	6.5%
売上総利益	1,129	25.5%	1,187	26.0%	1,032	22.3%	△13.0%
販管費	1,159	26.1%	1,219	26.8%	1,167	25.3%	△4.3%
営業利益	△29	-	△32	-	△134	-	-
経常利益	△39	-	△40	-	△183	-	-
当期純利益	△72	-	△210	-	△177	-	-

2016年2Q セグメント別実績サマリー

- 地盤改良事業の利益は減少、海外事業の利益は微減
- 地盤システムは外部環境が向上し、売上高・利益ともに増加

(単位:百万円)		2014年2Q		2015年2Q		2016年2Q		
	セグメント	実績	利益率	実績	利益率	実績	利益率	前年比
売上高	地盤改良	4,225		4,335		4,383		1.1%
	保証	93		84		83		△0.3%
	地盤システム	58		63		84		32.9%
	海外	0		35		24		△31.3%
	その他	57		39		46		16.6%
セグメント損益	地盤改良	△70	-	△2	-	△95	-	-
	保証	53	56.6%	65	77.5%	35	41.8%	△46.2%
	地盤システム	13	23.6%	5	9.2%	11	13.0%	87.7%
	海外	△19	-	△41	-	△42	-	-
	その他	1	1.9%	△11	-	△6	-	-

1. 売上高の増加

- ① 地盤調査・改良工事は、戸建住宅・非戸建住宅ともに前期比増加（住宅着工戸数は前年同期比＋4.0%増加）

単位：百万円	2014年2Q		2015年2Q		2016年2Q	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
戸建住宅	2,352	63.5%	1,853	44.5%	1,930	45.2%
非戸建住宅	1,353	36.5%	2,311	55.5%	2,343	54.8%
合計	3,705	100.0%	4,164	100.0%	4,272	100.0%

- ② 工法別では営業戦略が奏功し、非戸建住宅向けのボーリング調査が前年比増加。また、地盤改良の鋼管杭工法・表層改良等が前年比増加。

2. 粗利率の低下

非戸建住宅向け工事の見積もり・積算精度の不足

- 主力の戸建住宅から非戸建住宅へ移行の過渡期



第1四半期の粗利率低下を受け、第2四半期に対策を実施。
第2四半期では粗利率は改善するも、
累計での回復は下期に持ち越しとなった。



2016年度第2四半期 通期の見通し

地盤改良事業の対策による粗利率の回復

第1四半期は前述の要因により粗利率が低くなってしまったが、第2四半期に対策を実施し、前年の水準に回復してきている。下期についても堅調に推移する見通し。

グループ連結売上総利益率推移

	2014年				2015年				2016年	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上総利益率	23.1%	27.5%	26.4%	26.4%	25.5%	26.5%	24.4%	23.9%	19.5%	24.8%

粗利率の回復のための対策を継続

1. 工程管理を徹底し、自社機の稼働率を上げることで固定資産の回転を上げる。
2. 非戸建住宅向け改良工事に関する積算精度の改善
 - 設計部門の連携・管理を強化
 - 非戸建住宅対応の専門部署設立を予定

1. ベトナム

- 地盤改良事業はベトナム省庁との護岸工事が着工し、大方予定通り進捗中。
- WPC(プレキャストコンクリートパネル)事業については、販売先拡大に向けて活動中。

2. カンボジア

- WPC住宅建設請負等を行うJapanel Home Cambodia Co.,Ltd.を設立(6/24プレスリリース)

【事業内容】

- 現状は準備段階であり、売上発生は2017年度を見込む。

外部環境の向上が要因となり、第2四半期同様に通期も堅調な推移を見込む

1. 外部環境

2015年マンション傾斜問題の発生以降、地盤データの信頼性を確保する「G-Web system」への引き合い増加。

2. 大手住宅業者への営業注力

大手住宅業者からの受注獲得に向け、営業推進を強化



参考情報

2016年2Q 連結貸借対照表

- リース資産の取得+69百万円、減価償却費△127百万円が主な要因となり、固定資産は減少。

(単位:百万円)	2015年 第2四半期末	2015年 12月期末	2016年 第2四半期末	前期末比 増減額
流動資産	3,955	4,153	4,077	△77
固定資産	1,472	1,289	1,244	△44
資産合計	5,427	5,443	5,322	△121
流動負債	3,136	3,324	3,311	△13
固定負債	1,174	1,117	1,134	17
負債合計	4,310	4,441	4,445	4
純資産合計	1,117	1,001	876	△125
負債純資産合計	5,427	5,443	5,322	△121

2016年2Q 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)	2015年 第2四半期末	2015年 12月期末	2016年 第2四半期末
税金等調整前当期純利益	△249	△332	△185
減価償却費	173	363	177
瑕疵補修損失	205	269	7
売上債権の増減額(△は増加)	△86	△4	△73
仕入債務の増減額(△は減少)	73	181	△153
未収金の増減額(△は減少)	3	△24	74
瑕疵補修損失の支払額	△34	△170	△76
還付法人税	2	2	53
法人税等の支払額	△53	△113	△20
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13	144	△200
定期預金の預入による支出	△203	△106	△3
固定資産の取得による支出	△140	△182	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△331	△296	△67
短期借入による現金増減	136	273	210
長期借入による現金増減	5	140	123
ファイナンスリース債務の返済による支出	△117	△226	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー	18	183	241
現金及び現金同等物の増加額	△326	30	△26
現金及び現金同等物期首残高	1,282	1,282	1,315
現金及び現金同等物期末残高	962	1,315	1,277

ご清聴ありがとうございました。

IR担当窓口

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

サムシングホールディングス株式会社

部署：管理本部

TEL：03-5665-0840

Mail：ir@sthd.co.jp